

日本都市センター  
「都市自治体におけるスポーツを活用した地域振興に関する研究会」

## ～スポーツにおける社会的インパクト評価の枠組み～

---

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校  
応用健康科学部 教授  
井上雄平



# アウトライン

社会的インパクト  
の定義・評価の  
重要性

社会的インパクト  
評価の枠組みと  
応用事例

提言・まとめ

# スポーツの社会的インパクトとは？

## 定義

- スポーツ活動(イベント、プログラム等)がステークホルダーの「ウェルビーイングの側面」に与える影響

## ステークホルダーとは？

- 活動の影響を受ける全ての人々
- 例)参加者、観客・ファン、地元住民、ボランティア、運営者等

# ウェルビーイングの側面とは？

## 身体的

- 身体的健康
- 健康を保つための知識や能力

## 精神的

- 主観的ウェルビーイング（人生満足度、幸せ）
- 心理的ウェルビーイング（自己成長、生きがい）

## 社会的

- 信頼できる社会関係
- コミュニティへの帰属意識

# 社会的インパクト評価の世界的潮流

## 経済的インパクトに代わる新しい評価指標として台頭

- ここ10年、学術研究や実務者による調査が増加
- 大規模スポーツイベントの他、中小規模イベントやスポーツプログラムの評価の実施

## 統一指標を開発する取り組みが活発化

- 例) OECDによる国際イベントのインパクト評価指標

## 社会的インパクトを金銭換算する手法への注目

- 例) SROI(社会的投資収益率) = 社会的インパクトの金銭換算価値の総額 ÷ インパクト創出に必要なコストの総額

## 社会的インパクトをなぜ評価すべきか？

スポーツへの投資の重要性の根拠を示す。

- スポーツの無形の価値（ウェルビーイングへの効果）をエビデンスとして示し、ステークホルダーや資金提供者（政府、国民、企業等）に説明責任を果たす。

評価・測定しないものは管理できない。

- 評価から得たデータ・エビデンスを用いて更なる改善のための行動を実践する。

# スポーツにおける社会的インパクト評価の枠組み

## ヘルスリテラシー

- 健康を保つための正しい情報・知識・能力

## 主観的 ウェルビーイング

- 人生満足度、幸福感

## 人的資本

- 自己成長

## 社会関係資本

- 信頼できる社会関係・ネットワークの構築

## 集団的 アイデンティティ

- コミュニティへの帰属意識

# 枠組みの応用事例

## ～アンコールワット国際ハーフマラソン大会の社会的インパクト評価～

### アンコールワット国際ハーフマラソン

- 内戦後初の国際スポーツイベントとして1996年にシェムリアップ市で開始。毎年12月に開催
- 約1万人の参加(国外参加者が半数弱)
- 地雷被害者等への支援を行うチャリティースポーツイベントとしての側面

### 調査概要

- 2015年大会を対象に地元住民に聞き取りとサーベイ調査の実施
- 「社会的インパクト評価の枠組み」に基づき調査を設計





# 評価プロセス

枠組みに基づき大会の社会的インパクトのタイプを  
暫定的に定義

イベント開催の半年前に地元住民(計37名)と  
聞き取り調査

聞き取り調査の結果に基づき質問項目を作成。大会  
後、住民(参加者、非参加者を含む約460名)にサー  
ベイ調査を実施

# 聞き取り調査の結果

## 健康と主観的 ウェルビーイング

「大会に参加することで、マラソンが健康にとって重要であることを楽しみながら理解することができ、またスポーツの普及にも役立っている。」

## 社会関係資本

「大会は人と人との関係を深める機会を提供している。ランニングは競い合う競技だが、参加者はお互いに助け合うこともある。」

## 集団的 アイデンティティ

「参加者を道の脇に立って応援する時、クメール人として生まれ、アンコールワットを持っていることを誇りに思う。」

# サーベイ調査の結果（7段階評価）

6.0

## 健康と主観的ウェルビーイング

- ・ 質問例:「大会を通して健康管理のための知識を得た。」

5.7

## 社会関係資本

- ・ 質問例:「大会中、人々が助け合う姿を目にした。」

5.9

## 集団的アイデンティティ

- ・ 質問例:「大会により地元に近い帰属意識を感じた。」

## 追加の分析結果

- ・ 大会参加の有無は評価に影響しない。
- ・ チャリティーイベントとしての機能を評価する人ほど社会的インパクトの評価も高い。

# 事例研究からの考察・提言

## 評価する活動の特徴に沿って社会的インパクトのタイプを定義

- 枠組みを出発点に利用
- ステークホルダーからの意見を元に精査・変更
- 負のインパクト(怪我のリスク等)も考慮に入れる

## 質的・量的の両方のエビデンスを集め多角的に評価

- 質的: 聞き取りを通してステークホルダーの経験を理解する
- 量的: サーベイによる定量的評価や二次データ(医療費、運動実施率等)の分析、SROIによるインパクトの金銭換算価値への変換

# まとめ

## 定義

- スポーツ活動がステークホルダーのウェルビーイングの側面に与える影響

## 枠組み

- 1)ヘルスリテラシー
- 2)主観的ウェルビーイング
- 3)自己成長
- 4)社会関係資本
- 5)集団的アイデンティティ

## 提言

- 枠組みを出発点にステークホルダーの意見を取り入れ、活動の特徴に沿ったインパクトのタイプを定義・測定

# スポーツにおける社会的インパクト評価の枠組み

---

井上雄平